



いろは呑龍新聞

2019年(令和元年)7月号
第43号

和井川接続施設(向日市上植野町地内)の立坑工事を鋭意進めています！

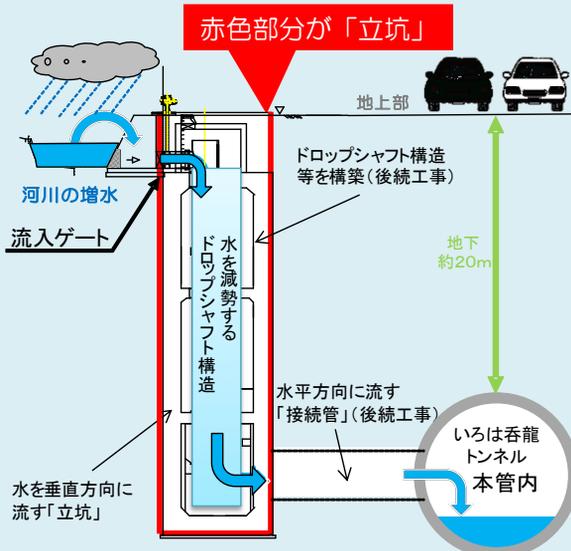
和井川接続施設立坑工事の概要

京都府では、和井川排水区(排水区域面積118ha)を対象とした雨水をいろは呑龍トンネル本管に流入させる**和井川接続施設**を整備しています。

現在、向日市上植野浄水場の敷地において、内径7.5m、深さ27.6mの円筒状の地下構造物を構築する「立坑工事」に着手しています。

立坑は、後続の接続管工事の資機材を搬入出する基地として坑内を利用します。その後、雨水をスムーズに流入させるマンホールを構築する工事を予定しています。

本号では、立坑工事の施工方法と進捗状況を紹介します。



立坑工事の施工方法

本工事は、工場で製作した鋼製枠を現場でリング状に組み立て、機械を使って圧入(圧力をかけて沈下)後、掘削するもので、リング組立→圧入→掘削を繰り返して立坑を構築していきます。

①鋼製枠 現場搬入



工場で製作された8分割の鋼製枠を現場に搬入

②鋼製枠 クレーン移動



クレーンを使って鋼製枠を所定位置に移動

③リング組立



溶接とボルトで枠同士を固定し、リング状に組立

④組立完了



1リング目組立完了時(全景)

⑤圧入装置の設置・圧入



圧入装置(写真緑色)を設置し、圧入開始

⑥リング内部の掘削



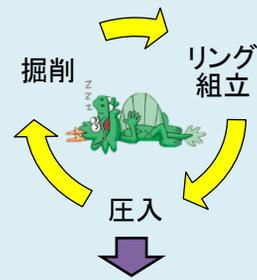
掘削機により、リングの内部を掘削

⑦仮設足場の設置



1リング分の掘削完了後、円形足場を用いて、圧入装置を残したままリングを組立(2リング目以降)

⑧工程繰返し



⑨到達後 内部状況



全26リング掘削完了!

進捗状況

全26リングの組立・圧入・掘削が完了し、立坑底部の水中コンクリートを打設予定です。

コンクリートは水中でも打設できるんだ!



令和2年度の暫定供用に向け、安全に工事を進めてまいります!